

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	教育学研究科
大項目	9 教育研究等環境 (研究科)
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備
	ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備
	教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 自己点検・評価(2010.5.1~2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA~Dの4段階とし自ら評価した。A~D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 施設・設備の整備については、完成年度以降の教育学部再編計画に併せた整備計画を2012年度までに立案する。	→「将来ビジョン委員会の開催回数と進捗状況」	B	B	/	/	/
2. 研究倫理に関する学内諸規程の周知を徹底する。	→「研究科委員会などを通して周知徹底の回数」	B	B	/	/	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目9.0.4	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。 (説明) 教育学部再編計画立案にあわせて研究科の施設設備の整備計画についてもその必要性を確認し、PCの配置など具体的な検討を始めた。研究支援体制については、開設時の計画通り進めている。研究倫理については、研究科委員長と研究科のメンバーとの個人面談で周知を図った。
その他	

《評価指標データ》

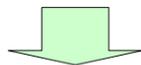
- 専任教員の研究費(実績)【大学基礎データ】
 専任の研究旅費【大学基礎データ】
 学内共同研究費【大学基礎データ】
 教員研究費内訳【大学基礎データ】
 科研費の申請・採択件数【大学基礎データ】
 学外からの研究費の総額と一人当たりの額【大学基礎データ】
 外部資金等導入状況【基本的な指標データ】
 教員の研究室の整備状況【大学基礎データ】
 学部、研究科ごとの講義室、演習室の面積・規模【大学基礎データ】
 学部、研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規【大学基礎データ】
 学部、研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況【大学基礎データ】
 留学、特別研究期間制度、自由研究期間制度の利用状況【基本的な指標データ】

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

★	小項目9.0.4	
	その他	



《次年度に向けた方策(1)》伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

★	小項目9.0.4	
	その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

★	小項目9.0.4	
	その他	



《次年度に向けた方策(2)》改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

★	小項目9.0.4	
	その他	

◎自由記述

《点検・評価》&《次年度に向けた方策》

★	その他 (自由記述)	
---	---------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

○施設設備の計画的整備が望まれます。

【学内委員】

- 適切に点検評価が行われています。
- 学部の再編計画にあわせた施設設備の整備計画は重要です。
- 現記述では、現状がどのようなかわかりません。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

- 小項目9.0.4
基盤評価：「専任教員に対して、研究活動に必要な研究費を支給している」「専任教員に対する研究室を整備している」
- 小項目9.0.4&9.0.5
達成度評価：「教育研究を支援する環境や条件が、その整備・運用状況等から見て、方針に沿い、適切である。その際、下記事項については、当該大学の特質に応じて、適切な配慮を行っている。」
 - ・研究専念時間の設定など、教員の研究機会の保障
 - ・ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)等の人的支援
 - ・研究倫理に関する規程の整備、研修会の開催、学内審査機関の設置等、研究倫理を浸透させるための措置

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

《現状の説明》9.0.4の(説明)部分に下記のように追記。

- ★ 大学院棟3階に通常教室(41㎡×1室・21-28㎡×3室)を備えるとともに、メディア室1室および学生用共同研究室2室等々も備えている。また、各専任教員のための個人研究室を1号館、3号館、5号および6号館に設けている。